



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東 札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊達 忠應

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,125	3.7	706	19.0	723	17.7	454	23.5
27年3月期第3四半期	12,651	1.4	593	△18.7	614	△18.3	368	△15.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 449百万円 (19.1%) 27年3月期第3四半期 377百万円 (△15.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	130.65	—
27年3月期第3四半期	94.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	9,872	6,369	64.5	1,830.53
27年3月期	9,164	5,961	65.0	1,713.21

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 6,369百万円 27年3月期 5,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,713	3.2	834	△4.0	835	△6.8	532	△7.1	153.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理を適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	4,216,000 株	27年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期3Q	736,550 株	27年3月期	736,509 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	3,479,458 株	27年3月期3Q	3,904,945 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策・金融緩和策を背景に、原油価格の下落や円安傾向の継続により、企業収益は緩やかな回復基調が続いております。一方で、円安による輸入原材料価格の上昇や、中国をはじめとする新興国経済の景気減速による世界経済の不安定さ、消費税増税に対する節約志向などから、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、公共工事や民間の設備投資が減少しているものの、個人の住宅建設が大幅に増加し、観光も緩やかに増加しており、個人消費は持ち直しの動きが見られ、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、平成28年度に診療報酬改定が予定されており、社会保障・税の一体改革など変化する医療環境に対応するため、業界を取り巻く経営環境は依然として厳しく、今後は業界再編や異業種からの参入の動きや、同業他社との価格競争による利益率の低下が進むものと思われまます。

このような状況のもと、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,125百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益706百万円（同19.0%増）、経常利益723百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益454百万円（同23.5%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規顧客の獲得により売上が増加したことに加え、経費全般の効率が更に向上したことから、売上高4,127百万円（同2.4%増）、セグメント利益182百万円（同30.6%増）と増収増益になりました。

## ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、店舗の閉鎖による影響がありましたが、既存の設備を効率的に利用する等新規出店に係る初期導入費用を抑えたことに加え、前期に新規開局した店舗を含め事業全体の業績が順調に推移したことから、売上高8,230百万円（同4.0%増）、セグメント利益796百万円（同11.4%増）と増収増益になりました。

## ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、福祉用具の賃貸・販売が前年同期を上回ったことから、売上高718百万円（同9.4%増）、セグメント損失0百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）と売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

## ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高48百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益29百万円（同11.1%増）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ602百万円増加（前連結会計年度末比9.5%増）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が96百万円減少しましたが、現金及び預金が484百万円、商品が188百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,952百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円増加（同3.7%増）いたしました。これは主に建物及び構築物が33百万円、差入保証金が17百万円それぞれ減少しましたが、建設仮勘定が117百万円、工具、器具及び備品が13百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,872百万円となり、前連結会計年度末に比べ707百万円増加（同7.7%増）いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ326百万円増加（同11.2%増）いたしました。これは主に賞与引当金が99百万円、未払法人税等が29百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が302百万円増加したことによるものであります。固定負債は271百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円減少（同8.9%減）いたしました。これは主に長期借入金が17百万円、長期未払金が5百万円、役員退職慰労引当金が3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ299百万円増加（同9.4%増）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は6,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円増加(同6.8%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益454百万円及び剰余金の配当41百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.5%となり、前連結会計年度末比0.5ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は1,830円53銭となり、前連結会計年度末比117円32銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成27年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,318	3,148,386
受取手形及び売掛金	2,939,782	2,843,435
商品及び製品	533,152	721,944
仕掛品	13,577	7,359
原材料及び貯蔵品	37,670	58,870
繰延税金資産	79,475	79,532
その他	84,256	92,453
貸倒引当金	△35,184	△32,153
流動資産合計	6,317,050	6,919,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,876,591	1,863,755
減価償却累計額	△1,224,053	△1,244,475
建物及び構築物(純額)	652,537	619,280
機械装置及び運搬具	41,791	41,421
減価償却累計額	△31,732	△34,753
機械装置及び運搬具(純額)	10,058	6,668
工具、器具及び備品	2,396,711	2,459,764
減価償却累計額	△2,009,723	△2,059,335
工具、器具及び備品(純額)	386,988	400,429
土地	932,817	945,852
リース資産	75,311	75,243
減価償却累計額	△35,162	△38,642
リース資産(純額)	40,149	36,601
建設仮勘定	—	117,180
有形固定資産合計	2,022,551	2,126,012
無形固定資産		
その他	121,915	122,358
無形固定資産合計	121,915	122,358
投資その他の資産		
投資有価証券	152,238	145,752
長期貸付金	13,187	9,380
長期前払費用	34,267	39,387
差入保証金	309,246	292,163
繰延税金資産	113,919	115,747
その他	103,497	123,444
貸倒引当金	△23,078	△21,357
投資その他の資産合計	703,278	704,517
固定資産合計	2,847,746	2,952,888
資産合計	9,164,796	9,872,716

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,382,233	2,684,876
短期借入金	25,352	25,021
リース債務	15,441	13,121
未払法人税等	151,763	121,942
賞与引当金	128,455	28,548
未払金	70,432	83,783
その他	131,677	274,470
流動負債合計	2,905,356	3,231,763
固定負債		
長期借入金	35,338	18,317
リース債務	28,189	27,082
繰延税金負債	746	519
役員退職慰労引当金	55,133	51,766
退職給付に係る負債	13,592	14,304
長期未払金	159,354	153,487
その他	5,974	6,224
固定負債合計	298,328	271,700
負債合計	3,203,684	3,503,463
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	4,435,013	4,847,865
自己株式	△504,568	△504,613
株主資本合計	5,929,065	6,341,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,045	27,381
その他の包括利益累計額合計	32,045	27,381
純資産合計	5,961,111	6,369,252
負債純資産合計	9,164,796	9,872,716

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,651,982	13,125,591
売上原価	8,805,987	9,170,220
売上総利益	3,845,994	3,955,371
販売費及び一般管理費	3,252,454	3,248,937
営業利益	593,540	706,433
営業外収益		
受取利息	1,165	959
受取配当金	5,291	5,513
受取賃貸料	25,846	23,507
貸倒引当金戻入額	—	4,694
その他	24,754	18,688
営業外収益合計	57,057	53,363
営業外費用		
支払利息	1,674	1,444
賃貸収入原価	30,329	30,502
その他	4,149	4,517
営業外費用合計	36,154	36,465
経常利益	614,444	723,331
特別利益		
固定資産売却益	0	305
特別利益合計	0	305
特別損失		
固定資産除却損	489	3,779
減損損失	—	4,878
リース解約損	—	1,529
特別損失合計	489	10,187
税金等調整前四半期純利益	613,955	713,449
法人税等	245,839	258,844
四半期純利益	368,115	454,605
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,115	454,605



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	368,115	454,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,613	△4,664
その他の包括利益合計	9,613	△4,664
四半期包括利益	377,729	449,940
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	377,729	449,940

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,030,837	7,913,938	657,128	12,601,905	50,077	12,651,982
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	512,960	512,960	1,286	514,246
計	4,030,837	7,913,938	1,170,089	13,114,865	51,363	13,166,229
セグメント利益又は損失 (△)	139,674	714,897	△9,543	845,028	26,139	871,167

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	845,028
「その他」の区分の利益	26,139
セグメント間取引消去	8,348
全社費用(注)	△285,975
四半期連結損益計算書の営業利益	593,540

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,127,902	8,230,390	718,613	13,076,905	48,686	13,125,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	478,636	478,636	1,026	479,662
計	4,127,902	8,230,390	1,197,249	13,555,541	49,712	13,605,253
セグメント利益又は損失 (△)	182,403	796,308	△372	978,340	29,048	1,007,388

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	978,340
「その他」の区分の利益	29,048
セグメント間取引消去	8,159
全社費用(注)	△309,114
四半期連結損益計算書の営業利益	706,433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、応需病院の閉鎖に伴い閉店した土地建物の売却額が確定したことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において4,878千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。